

事務事業名	乳幼児健診事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5211	
			所属課室	健康増進課		課長名	深澤 秀	
			所属担当	保健相談担当		担当者名	荻野尚子	
基本政策	基本計画体系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり					
		18	健康づくりの推進					
施策	31	保健・医療の推進						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	母子保健法				
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)							
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)					
	1. 乳幼児期の疾病の予防、異常の早期発見をはかり、健やかな育ちを支えるために、乳幼児健康診査事業を行う。 2. 内容 ・乳幼児健康診査 4か月児 年21回・10か月児 年21回 ・幼児健康診査 1歳6か月児・3歳児・2歳児歯科 各年24回 3. 業務の流れ ①医師・歯科医師等スタッフへの依頼と調整②年間計画作成・健康づくり日程表への掲載③幼児健診は個別通知発送④乳幼児健診の実施⑤事業報告書の作成		項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)					
				臨時職員賃金		賄材料費		
				その他報償費		機械器具購入費		
				消耗品費				
				印刷製本費				
						計	0	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
26年度活動内容	乳幼児健診事業の開催、乳幼児健診事業評価の実施	名称	単位
27年度活動予定		ア 開催数	回数
		イ 参加数	人
		ウ	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
乳児・1歳6か月児・2歳児・3歳児とその保護者		名称	単位
		ア 対象数	人
		イ 参加数	人
		ウ	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
各月齢に沿った発育、発達の確認及び疾病や発達のアンバランスさがある乳幼児が早期に必要な支援が受けられるようにする。保護者の育児不安が軽減できる。		名称	単位
		ア 異常がない児の数	人
		イ 病院に紹介した児の数	人
		ウ 心理相談につなげた児の数	人
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
子どもたちが家庭や地域の愛情に包まれて健やかに育つ		名称	単位
		ア 子育てが楽しいと答えた保護者の割合の増加	人(%)
		イ 育児の相談相手や協力者がいると答えた保護者の割合の増加	人(%)

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	国庫支出金	千円								
		千円								
		千円								
		千円								
		千円								
	事業費計(A)	千円	12,955	13,566	13,753	16,568	16,568	16,568	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6	
	延べ業務時間	時間	3,000	2,680	2,680	2,680	2,680	2,680		
	人件費計(B)	千円	13,653	12,197	12,197	12,197	12,197	12,197	0	
	(A)+(B)	千円	26,608	25,763	25,950	28,765	28,765	28,765	0	
活動指標	ア	回数	120.0	113.0	114.0	115.0	115.0	2,680.0		
	イ	人	2,877.0	2,737.0	2,900.0	2,900.0	2,900.0	2,900.0		
	ウ									
対象指標	ア	人	2,961.0	2,815.0	2,800.0	2,900.0	2,900.0	2,900.0		
	イ	人	2,877.0	2,737.0	2,800.0	2,820.0	2,820.0	2,820.0		
	ウ									
成果指標	ア	人	746.0	660.0	660.0	660.0	660.0	660.0		
	イ	人	127.0	104.0	104.0	104.0	104.0	104.0		
	ウ	人	189.0	180.0	180.0	180.0	180.0	180.0		
上位成果指標	ア	人(%)	87.5							
	イ	人(%)	97.6							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	母子保健法10条12条13条に基づき合併前各町村で行われていた事業を月齢を協議し実施。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	平成17年度の発達障害者支援法の施行にともない児の発達障害の早期支援に留意している。知的、情緒の発達支援が必要な児が増加してきている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	健診時間の短縮、待ち時間解消に関する要望が多い

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	合併時の事業統一で12か月児を健康診査の対象にしていたが、生活習慣の獲得、食育、精神身体面の発達のキーマンスを考慮し、10か月児健診を検討し、H22年度より実施している。H22健診参加者へアンケートを実施し改善点を検討。健診協カスタッフとの会議を実施し連携強化。H24発達検査の方法を検討し、検査用具の改
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	3年ごとにアンケート実施しH26年度の健診運営に反映できるよう分析中。

事務事業名	乳幼児健診事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 本事業が、乳幼児の成長発達の継続的な確認の場になっており、疾病・発達障害の早期支援とともに健康状況を把握し、健やかな成長の一助となっている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 すべての乳幼児が公平に健康診査をうける必要性があり、心身ともに健全に成長していくために継続的な保健相談、親支援、成長発達の確認が必要となる。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 4、10ヶ月は乳児期の発達確認の重要な健診であり、1.6歳、3歳は法定健診であり、2歳は幼児期の発達確認の重要な健診として、近年重要視されているため、現状の健診を継続していく必要あり。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 疾病、発達障害、発達のアンバランスさを持つ児の早期発見のため、健診スタッフのスキルアップ、共通理解をはかることで健診精度の向上を目指す。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 乳児は医療機関で健診票発行している。継続的に育児環境を考慮した各月齢にそった発育発達の支援を行うために連携を図っているが統合はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 母子保健法に基づいて実施している事業であり、休止は疾病が見逃されたり、発達障害の早期支援が遅れる場合が考えられる。また、継続的に保護者の育児不安を把握し支える場がなくなる。健やかな人材育成が阻害される。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 過去に保健指導用の資料を自分達で作成し、パンフレット購入を削減した経過がある。その他必要経費は健診スタッフの賃金、報償費、健診に必要な最低限の消耗品であり削減は難しい。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 H25年度は対象人数の減少により、乳児期の健診回数を5回削減し経過をみた。4ヶ月健診の1回の対象児が多くなり、H26年度は1回追加した状況であり、現状では削減余地なし(4ヶ月健診は予算要求時点では出生していない対象児となるため対象児把握困難)。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 すべての乳幼児が対象で、無料である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	すべての乳幼児が対象としてこの時期でないとできない健診であり成長過程の重要な時期に大切な健診事業である 受診率は各年齢ごと高くなっている。
② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ① 疾病、発達障害、発達のアンバランスさを持つ児の早期発見のため、健診スタッフのスキルアップ、共通理解をはかることで健診精度の向上を目指す。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 今後新しい事項があればそれに対応して行く 今も健診事業に合わせて他の相談業務を同時実施しているが今後も必要であるとする。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑧																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					